

# 令和2年度公共事業評価監視委員会 再評価地区

## 県営かんがい排水事業

### とすなんぶ 鳥栖南部地区

事業採択後 10年間経過

# 位置図



# 事業目的

本地区は佐賀県東部に位置しており、米、麦、大豆を中心とした土地利用型農業の他、イチゴ、アスパラガス等の園芸作物が作付けされている。

地域の農業用水は、安良川と薬師川からの取水に依存しており、小規模な干ばつ時でも農業用水が不足し、営農に支障を来している。



このため、用水施設の整備により農業用水の不足を解消し、営農の安定化と効率化を図ることで地域の中心となる経営体への農地集積を進め、地域農業の持続的な発展を図ることとしている。

# 事業概要

【受益面積】  
78.9ha  
(鳥栖市)

【事業量】  
管水路 3.9km  
揚水機場 1箇所  
【事業費】  
844百万円

【工期】  
平成23年度  
～令和4年度

 受益地 (鳥栖南部)  
 県営水路 (管水路)

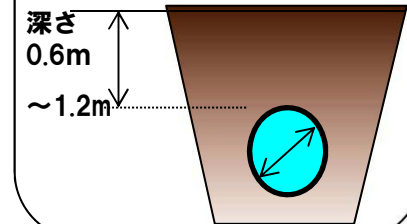


令和2年度以降残事業量  
管水路 L = 0.8km

令和元年度末  
進捗率94%

県営水路 断面図

管径 20cm~50cm



# 国営事業等で造成された施設

本地区では不足する農業用水を筑後川から取水しており、国営筑後川下流土地改良事業で整備された施設を介して配水される計画である。



(右岸：佐賀県みやき町、左岸：福岡県久留米市)



三養基郡みやき町(旧北茂安町)

# 鳥栖南部地区の実施状況

## 管水路の埋設状況

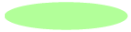



## 水管橋（橋梁に添架）



## 揚水機場（建屋・ポンプ設備）



	受益地
	県営水路（管水路）
実線	R1迄施工済
破線	R1迄未施工

  
揚水機場

# 社会経済情勢等の変化

- ・受益地内における農家数は、減少傾向  
【事業採択時】210戸 → 【現在】204戸

# 費用対効果の要因の変化

要因の大きな変化なし。

○総便益(B): 事業を行うことによって発現する効果額  
(内訳)

○作物生産効果	1,840百万円
○品質向上効果	99百万円
○営農経費節減効果	1,757百万円
○維持管理費節減効果	△103百万円
○国産農産物安定供給効果	66百万円

○総費用(C): 当該事業及び関連事業の建設事業費＋  
事業期間及び40年間に要する維持管理費

## 総費用総便益比

$$\frac{\text{総便益 (B)} \quad 3,659 \text{百万円}}{\text{総費用 (C)} \quad 3,607 \text{百万円}} = 1.01$$



# コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- ・パイプライン工事における現場発生材やクラッシャーラン等の再生材を活用。

(代替案の検討)

特になし。

# 対応方針

当初から事業の必要性は変わっておらず、国営事業と一体となって事業効果を発現するものであることから事業を継続したい。